

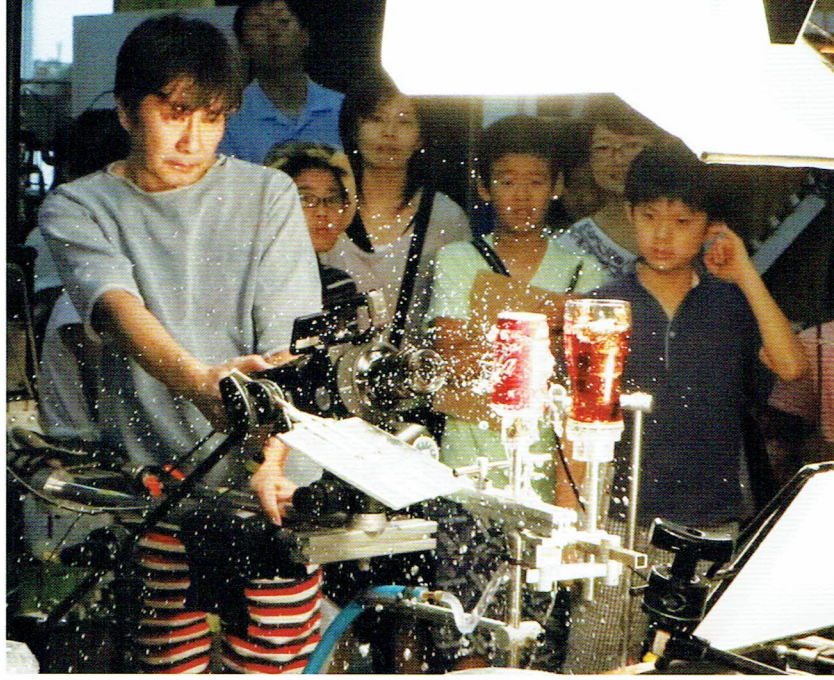
将来を担う子どもたちのために

企業見学会 & 租税教室



川崎西法人会青年部会

協力：笹子うどん（昼食・租税教室会場）
【今回の訪問企業】
株式会社 hy-phen（多摩区枳形5-16-4）
株式会社三矢研究所（麻生区上麻生6-31-18）
株式会社カジノヤ（麻生区岡上488-1）
※訪問順



飲料の特殊効果撮影の様子。撮影はまさに一瞬のできごと。

身近にもいろいろな会社と技術があることを知ってもらいたい

川崎西法人会青年部会は7月26日、地域社会貢献活動の一環として今年で4回目となる「企業見学会&租税教室」を開催した。普段はなかなか入ることができない企業の内部を見学して身近な会社の存在と技術を知ってもらい、同時に税金についても楽しく学べるという内容。今年が多摩区と麻生区の小学校に通う小学3年生～6年生の親子を対象として参加者を募り、多数の応募の中から抽選で選ばれた19組40名が参加。集合場所となったホテルモリノ新百合丘から2台のマイクロバスに分乗し、ツアーが出發した。

■訪問企業①

TVCMの特殊効果撮影を見学 「株式会社 hy-phen（ハイフン）」

1か所目の訪問企業は、多摩区枳形にある株式会社hy-phen。同社はTVCM映像・グラフィックなどのコンテンツにおける、特殊効果の企画及び制作を行っている。中でも食品のCMで非常に定評が高く、商品の特徴をシズル

感（おいしさ・美しさなど）で表現し、「食べたいな」「使いたいな」と思わせるような映像を作ることに力を入れている企業だ。

この日は、飲料の特殊効果撮影を見学。専用の装置に飲料の缶とコップがセットされ、スイッチを押すと移動しながら水しぶきが当たる仕組みだ。スイッチを押してから撮影が終わるまでの時間はまさに一瞬。スローモーションで撮影された映像をモニターで確認すると、まさに生き生きと動く飲料缶と水しぶきの姿が映し出され、「この映像ここで作られていたんだ!」と、子どもたちは終始興奮気味。通常、CMは15秒や30秒という場合がほとんど。その中でも特殊効果の映像が使用されるのはまさに一瞬。「納得がいく映像を作り出すために、何回も何回も、時には100回以上同じ作業を繰り返します。スタッフみんなでその一瞬のために本気で取り組んでいるんです」とスタッフからの説明を受け、親御さん達からも驚きの声があがっていた。

■租税教室

税金の仕組みについて楽しく学ぶ

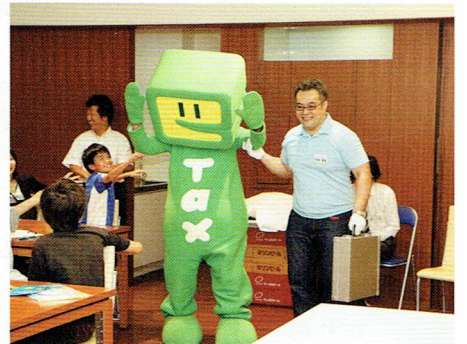
続いて一行は、新百合ヶ丘駅近くの「笹子うどん」に移動して租税教室を実施。税理士の門間亜砂子さんを講師に招き、税金の仕組み税金の使われ方など、スライドやビデオ映像を使って分かりやすく解説。もし税金が無くなってしまったら、私たちの暮らしがどう変わってしまうのかを具体的なイメージで伝えた。積極的に質問をする子どもたちの姿も多く見られ、税金は私たちが安全に安心して豊かに暮らしていくために必要不可欠なものだということを理解してくれたようだ。会場には国税庁e-Taxキャラクター「イータくん」が登場。さらに一億円分の紙幣のレプリカが現れると、子どもたちは競ってその重さを確かめていた。租税教室終了後はお楽しみの昼食タイム。笹子うどん自慢のうどんや天ぷらが振舞われ、参加者一同みな満足の様子だった。



撮影した映像を別のモニターで確認の様子。驚きの声があがる。



昼食会場で行われた租税教室の様子。



昼食会場に登場する国税庁e-Taxキャラクター「イータくん」